

# 豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりとは万人的のために、万人はひとりのために

7・8月合併号 No. 370  
一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財) 兵庫県水産振興基金  
神戸市兵庫区中之島 2-2-1  
TEL 681-6954~7  
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

# 碧い海・豊かな漁村を協同の輪で

## 和は力なり 水産系統団体は一丸で

兵庫県漁業協同組合連合会

会長理事 酒部 龍三



去る五月二十五日の  
選任され、三漁連合併  
理事会において、健康  
後十二年間会長として  
上の理由により、会長  
業界を統轄、指導して  
職を辞任された山田岸  
松前会長の後任として  
後を受け、七月一日付  
戸内海側では明石海峡

で兵庫県漁連会長に就  
任いたしました。何  
分にも山田前会長が残  
された数々の功績の偉  
大さと、また、その業  
績を継承する責務と使  
命の重大さを痛感いた  
しております。水産業  
界をめぐる諸情勢の厳  
しい中で就任いたしま  
したが、微力ながら水  
産業界発展のため最善  
を尽くす所存ござい  
ます。  
本県においては、瀬  
戸内海側では明石海峡

大橋、フェニックス計  
画等、大型プロジェクト  
が進められている基  
で、水産業との調和問  
題、更に日本海側に関  
しては、漁業資源問題  
と併せて、二百カイル  
問題の影響を受ける沖  
合漁業は長期的な構造  
不況が続いており、ま  
さに難関が山積されて  
おります。

している次第でありま  
す。なお、但馬におい  
て現在検討されている基  
マリン・ベーシジョン構  
想については、行政の絶  
大なる協力を得ながら、  
但馬漁業の振興策とし  
て進めてまいりたいと  
考えます。

また、対話を主とし  
た研修の機会を数多く  
設け、人と人と和を  
大切に、「和は力なり」  
をモットーとして、漁  
業協同組合は一つ、一丸と  
なして信頼と連帯意識  
の高揚に努め、今後よ  
り一層皆々様と手をと  
り合い、相協力して本  
県水産業発展のため前  
進したいと念じている  
次第でありますので、  
関係行政庁ならびに系  
統団体、傘下会員の理  
解あるご支援とご指導  
を賜りますようお願い  
申し上げます。

## 漁業共済の拡大 発展を願って

兵庫県漁業共済組合

組合長理事 樫 本 實



とに対し、厚くお礼を  
申しあげる次第であり  
ます。  
本年度は、こうした  
従来の実績をふまえ、  
また第2次中期計画の  
達成を目指し、さらに  
全国的に展開される  
「全国ぎよさい総加入  
運動」のもとに、加入  
の層の拡大、発展を  
進めて参りますので、  
何とぞ前組合長同様、  
よろしくご指導、ご鞭  
達を賜りますようお願い  
を申し上げます。  
ご挨拶いたします。

## 漁業経営の 維持安定を目指して

兵庫県信用漁業協同組合連合会

会長理事 炭 谷 恒 男



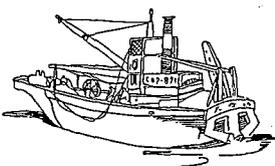
境は極めて不安定であ  
ります。加えて、金融  
自由化の進展等、今後  
における系統信用事業  
に課せられた役割はま  
すます重要となって参  
りました。

信漁連といたしまし  
ては、本県漁協系統信  
用事業の中核として、  
将来構想を展望しつつ  
漁業基盤の強化と経営  
体制の整備を緊急の課  
題として、漁協信用事  
業整備強化事業の推進  
を通じて、実効を収め  
たく念じている次第で

このたび、前組合長  
理事 西上重三氏の勇  
退に伴いまして、各位  
のご推挙により七月一  
日付で組合長理事に就  
任いたしました樫本で  
ございます。

はからずもこのよう  
な重責を担うこととな  
り、微力ではあります  
が、一層こころを引き  
しめ、本県漁業共済事  
業の拡大、発展のため  
に専心努力を傾注すべ  
き所存でありますので、  
よろしくご協力を賜り  
ますよう、心からお願  
い申し上げます。

ご承知のように漁業  
は、海流の異変や異常  
気象、資源の変動等に  
対し、厚くお礼を  
申しあげる次第であり  
ます。



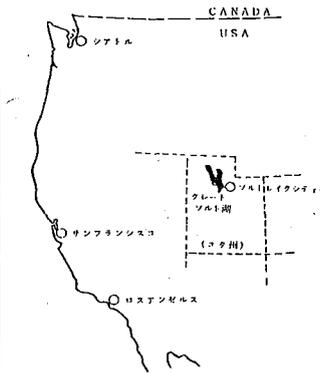
# 赤潮テレホン情報

いつも新しい情報を  
用意しています。ご利用下さい!!

# Tel.078-942-1534



# やじろぱん



今日、栽培漁業の発展をみるに至った陰に、シオミズツボワムシとともにブラインシュリンプがある。必要時に大量に手にすることのできる初期の活餌料として、アルテミア・サリーナの種類が与えられて

## 水試ノート 栽培漁業とブラインシュリンプ

れも海には生息しない動物プランクトンである。魚類や甲殻類の種苗生産技術の開発や研究は、これらを如何にタイミンよく使うかという一面をもっている。さて、現在我々が大量に消費しているこのブラインシュリンプ卵は、すべて輸入品で世界のあちこちから集めてある。一時は輸入品に頼っている不安からこれを使わない方向で研究を進めたこともあった。しかし、良品質のもの安定供給されるようになり、その利便さから今では必需品に格付けされてしまった。ブラインシュリンプは、鹹水産の無殻甲殻類で、鰓脚目、無殻亜目、アルテミア科に属し、アルテミア・サリーナの種類が与えられて



いる。繁殖は、直接ノープリウスを産む卵胎性と耐久卵を放卵する二つの様式をもつ。種苗生産には、この後者の耐久卵を利用しているわけだ。耐久卵は、風乾あるいは高張鹹水などで脱水されないと後でふ化しない。

昨夏、一ヶ月程別の用務で米国研修の機会が与えられた。大学の林講日を利用してブラインシュリンプの故郷ともいべきユタ州のグレートソルト湖に飛んだ。この湖の水を舐めてみたところ、おおよそ海とは無縁な大陸の中央部にあって琵琶湖の十一倍の面積を持つ鹹水湖である。ここは、先史代の海がとり残され、乾燥して二〇〜二五％の塩分(瀬戸内海は約三・二％)を含む鹹水に濃縮されたのだそうである。周囲は、雪かきと見まがいて馬を乗りまわしているところである。下等な緑藻類とブラインシュリンプの他は生物が繁殖しない死の海。水浴者はコルクのように浮く云々と案内書にあった。実に塩っぱい水であった。

日曜日であったが無言で日本を調べていた会社を訪ね、倉庫に山積みされた耐久卵を見せつけた。冬から春にかけて海岸に吹き寄せられたものをポンプ採集し、そのまま乾燥したものである。特に低温期の卵がふ化率の高い良質な製品になるそうである。順次にこれを水洗いし、沈下する重い卵を集めて

再び風乾して缶詰にしてある。この人達は日本に売っているもの何に使われているかさっぱり知らないようだ。それもそのはずウボイやラインデアが馬を乗りまわしているもおおくない景色の中で、栽培漁業を説明するのは至難なことである。

赤茶色のお世辞にもきれいとはいえない水の中で水遊びを楽しむ人達を眺めていたが、この水の中にいる小っちゃな生物が日本のタイやエビを作っているのだと言っても多分この人達には理解して貰えないだろうとひとり苦笑していた。

### 漁海況情報

昭和62年 6月 兵庫県立水産試験場

海況 (明石海峡周辺) 旬平均水温は上旬18.2℃、中旬19.2℃を示しており、平年に較べて上旬は0.1℃中旬は0.2℃低目に推移している。

(大阪湾西部・紀伊水道北部) 6月15日の調査結果によると大阪湾の表面水温は18.4℃、19.1℃の範囲にあり、平年に較べて0.5℃、1.4℃低目である。また紀伊水道北部の表面水温は18.4℃、19.5℃を示しており、平年に較べて0.9℃、2.0℃低目である。(播磨灘) 6月11〜12日に実施した調査の結果によると、表面水温は17.2〜20.6℃の範囲にあり、平年に較べて0.3〜1.2℃高目を示している。水温分布は典型的な夏型となり瀬北で高く南部および明石海峡部で低くなっている。

### 海区漁業調整委員会だより

六月二十九日 但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、委員会指示発動後の操業状況について 各地区ごとの操業状況報告がなされました。

六月二十一日 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を県中央労働センターで開催。

一、第二期栽培漁業基本計画の策定について 県からの諮問を控えて、現時点での県の構

想について詳細な説明があり、稚魚の採捕規制、適正放流サイズ等について協議され、基本計画策定の指針とされた。

二、その他 (兵庫内海におけるサワラ漁業について) 昨年の漁期からのサワラをめぐる諸問題についての県及び委員会との対応経過と最近の情勢に、関係委員から説明があり、今後の方針等について協議が行われました。

調査地：淡路町 主漁場：大阪湾北西部

漁業種別	隻数	主漁種	一般 日平均		キロ単価(円)	備考
			漁獲量(kg)	前年比		
小浜漁期	25	アナゴ	5-10	1.0	1,000-1,100	
		エビ	3-8	0.9	1,500-1,800	
		マコガレイ	10-120	10.0	1,500-1,800	
6	タイ	5-10		4,000-8,000	神楽期	
	スズキ	3-5		3,000-4,000		
	タイ	5-15	0.7	4,000-6,000	香智期	
33航	シラス	375-750		110-760		
	スズキ	3-8	1.5	4,600-4,800		
	セイゴ	1-5	1.0	3,200-3,800		
30	アコギ	0.5-1		8,000-8,200		
	カサゴメ	2-5	1.0	2,500-2,800		
	マダイ	1-2	1.0	3,000-9,000		
10	マサバ	7-15		700-1,000	曳網期	
	アナゴ	10-30	1.0	1,400-1,600		
3	マコガレイ	5-10	0.8	3,200-3,600		
	ベラ	4-15		1,600-2,400		
10	ベラ	5-10		800-900		
	アイナメ	2-6		2,000-2,200		
8	メバル	2-4		2,100-2,300		
	キス	5-20	0.8	1,300-1,500	キス期	
3	タコ	10-40	1.0	1,200-1,300		
	タコ	10-40	1.0	1,200-1,300		

漁況の特徴：底曳で朝早くにマコガレイが多い。曳網のマサバの体型は、300〜500g。

調査地：明石浦 主漁場：大阪湾北西部および播磨灘東部

漁業種別	隻数	主漁種	一般 日平均		キロ単価(円)	備考
			漁獲量(kg)	前年比		
小浜漁期	40	メイトガレイ	3-6	0.8	4,000-5,500	大阪湾
		エビ	10-15	0.7	500-1,800	
		マコガレイ	1-3	1.0	1,500-4,000	
40	タコ	5-10	1.0	800-1,500		
	アナゴ	5-8	1.3	400-1,300		
	ウマヅラ	10-20	1.3	100-300		
30	メイトガレイ	3-6	0.8	4,000-5,500	播磨灘	
	マコガレイ	1-3	1.0	1,500-4,000		
	タコ	5-10	1.8	800-1,500		
30	アナゴ	5-15	1.0	400-1,300		
	ウマヅラ	10-20	2.0	100-300		
	エビ	10-25	1.0	1,200-1,800		
5	エビ	50-100	3.0	300-500		
	ジャコ	5-15	1.0	300-500		
	アナゴ	3-8	0.5	400-1,500		
40	マダイ	10-15	0.7	2,500-6,000	香智期	
	スズキ	5-20	1.3	2,000-6,000		
	サワラ	5-10	1.0	1,000-1,500		
20	マルアジ	1-3		3,000		
	サバ	3-7	2.0	1,000-1,500		
10	タチウオ	10-30		400-1,500		
	タチウオ	10-30		400-1,500		

漁況の特徴：全般的に漁獲量多い

年並で1隻当たり5〜10kg/日の漁獲量である。(一本釣・曳網) 明石海峡及びその周辺海域ではスズキ、サワラ、マサバ、マルアジが主に漁獲されている。スズキは、昨年同様の1.3〜1.5倍の漁獲がみられ前月同様好漁である。サワラは、5月中旬頃から減少し、これにかわってマサバが今年はいくぶん多い。一方、紀伊水道北部では、6月に入ってから一本釣は不漁であったが、20日すぎからマサバが漁獲された。

昨年、全国的にマアジの発生量が多く今年はその成長群の漁獲が期待される。(船曳網) 6月の大阪湾のシラス漁は全般に不調で漁獲量は昨年同様にかなり下回っている(1/2〜1/3)。

